



# しみずまちなか夢あかり

## 照明社会実験手法 (安心安全のあかりの考え方)

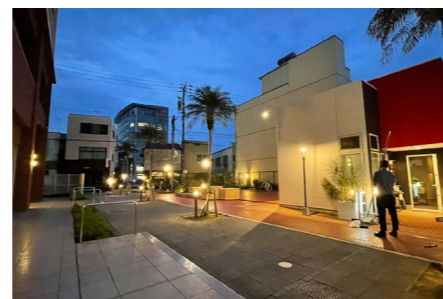
- 街路の周りの暗闇を無くします。  
人の空間認知と人が隠れないようにします。  
どこに人が滞留しているかを認識させます。
- 空間の抜けを認識させます。  
どこにいて、どこに行けるかを認識させます。
- 人の生活のあかりをつくります。  
人の存在を感じられることによって、  
犯罪抑止につながります。

○省エネの実現  
通常の街路照明と比較して、  
約 1/5 の省エネを実現できます。

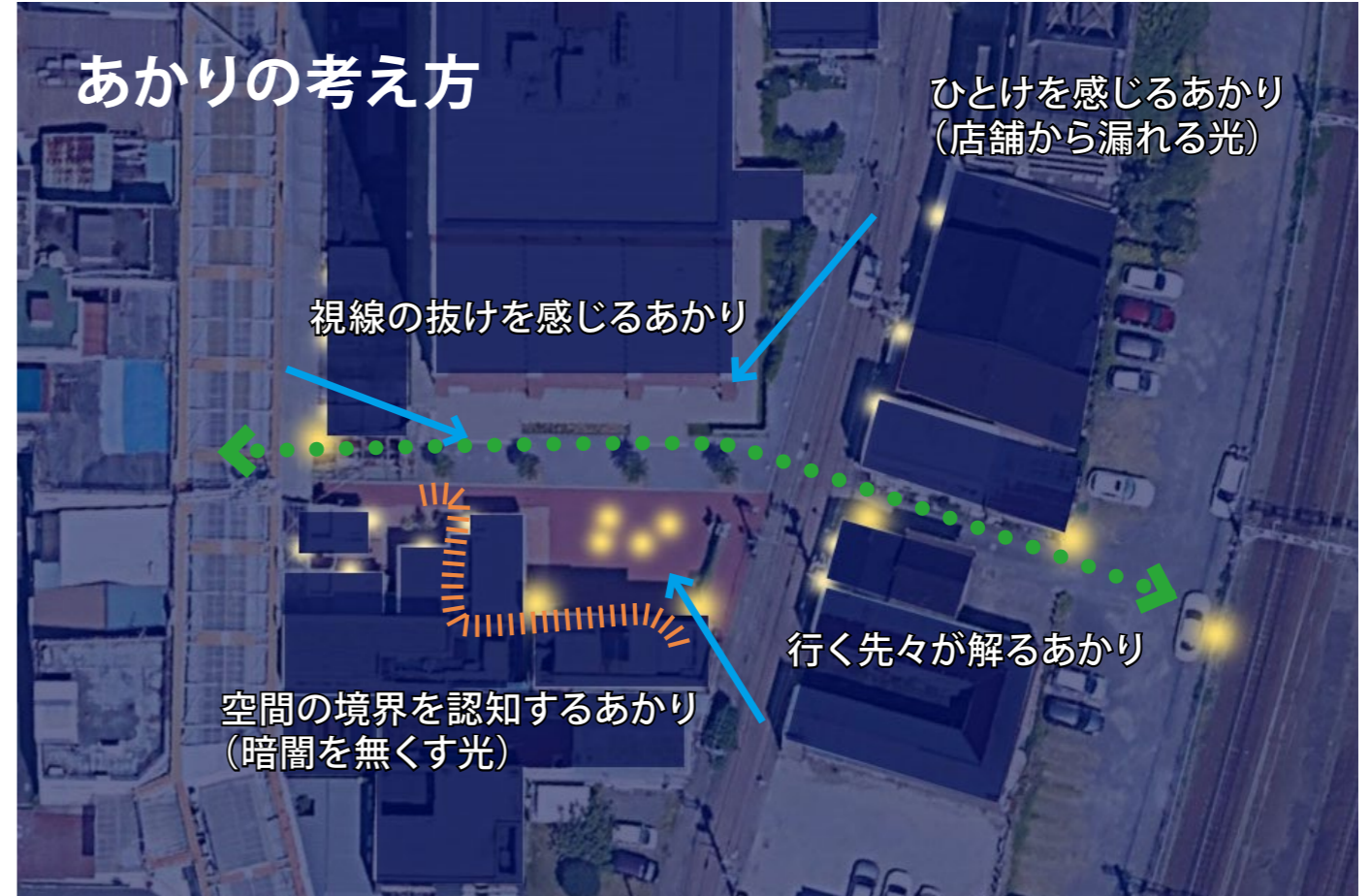
なぜ？

■路面の明るさは必要ないのでしょうか？  
バリアフリーで計画されている路面には段差がありません。なので、一度平坦だと認識すると、路面を見て歩いていません。なので、路面の明るさは基本的に必要性が低いです。

■人の顔は見える必要はないのでしょうか？  
一般的には人の顔が見える環境では犯罪は少ないです。しかし、近年の犯罪、特に特殊詐欺などでは、犯罪者は顔を見られても犯罪を犯します。顔が見えると犯罪を行いたいと思っている人は、犯罪を起こさない人です。



人が認識する街路から連続した空間の暗闇を無くすことで  
安心安全を増幅、犯罪の抑止力を実現させます。



アドバイザー： 角館まさひで  
/ 東京都市大学工学部客員教授  
/ ぼんぼり光環境計画  
/ 静岡市景観アドバイザー  
設営強力：長尾亜子 / 静岡工科大学、横浜国立大学

参考文献：  
照明学会東京支部大会 横澤俊 小林茂雄 角館政英 H30 ※優秀研究賞  
「道路と建物とボイドを一体的に計画した街路照明とその評価—気仙沼市駅前商店街」  
日本建築学会技術報告集  
小林茂雄 鈴木竜一 角館まさひで 塚本由晴 貝島桃代 20(40), pp169-172,2014.2  
「渋谷区立宮下公園における要求性能に基づいた低照度光環境の計画と評価」  
日本建築学会学術講演梗概集  
小牟田桂吾 角館まさひで 鈴木竜一 上野佳奈子 小林茂雄 F-1, pp.285-286,2011-07-20  
「東京都町田市原町田地区における照明社会実験：夜間街路の防犯性・省エネルギー性について」  
照明学会誌投稿 角館まさひで 93(8B), 648, 2009-08-01  
「街路空間における防犯性・安全性を高めるための照明環境に関する研究」(学位論文要旨)



# しみずまちなか夢あかり

